

Zoomを一部利用し、レジュメ、文献を読み、 フォーラムでのディスカッションを行う授業案の例

●『宗教学入門』第2回

- ・ 学年：1年生
- ・ 人数：10～20名程度
- ・ 日時：水曜日 3限(13時～)

● 授業目標

現代日本人の宗教観を、日本における宗教概念受容から理解したうえで、宗教の考え方について自分の意見を記述できるようになる。

● 教材

1. レジュメ

- ・ 問題提起：果たして日本人は無宗教か？
- ・ 日本における宗教概念受容の歴史的経緯の説明。
- ・ 現代における宗教概念の反省。

2. 参考文献 以下の抜粋

- ・ 柳川啓一『現代日本人 宗教』、宝蔵館、1991。
- ・ 阿満利磨『日本人はなぜ無宗教なのか』、ちくま新書、1996。

● 課題内容

レジュメと参考文献を読むことによって、宗教に対する考え方がどのように変わったのか(または変わらなかったのか)とその理由について述べなさい(400字以上)。

その際、以下の内容を含むこと。

- ・ 自分のもとも持っていた宗教観。
- ・ レジュメと参考文献を読んで変化した/変化しなかった宗教観。
- ・ 変化した/しなかった理由(参考文献やレジュメの該当箇所に言及すること)。

● 学生への指示

1. 金曜日までにPandAのフォーラム上に記入すること。
2. 土曜日から火曜日までに、PandAのフォーラム上の他の学生の意見を読み、参考になったと思われる記述に対して、返信の形で、参考になった点をコメントすること(2件以上)。

指示は具体的に

オンデマンド型「宗教学入門」スケジュール

火曜日：PandAの「リソース」に教材をアップロードする
PandAの「フォーラム」に新しいスレッドをたて課題を記載する

水曜日(時間割で設定された授業日)

13:00 (時間割で設定された授業開始時間)
導入部分(約20分)

Zoomの使用

<Zoomを使う理由>

- ・ 動機づけのためのグループワークが可能
- ・ 学生の理解度や、前提知識にあわせた課題の説明が可能
- ・ 開始時間をそろえることで、学生がタイムマネジメントしやすい
- ・ リアルタイムで参加できない/できなかった学生に対してはPandAを通して録画ビデオを視聴させることができるため

13:20 説明部分(約20分)

3通りの選択肢：学生の実況や教材の特性によって使い分ける

Zoom (メリット)

- ・ 続けて説明をすることで、動画ファイル・音声ファイルもその場で得られる(デメリット)
- ・ データ量が大きい

録音・録画ファイル (メリット)

- ・ データ量の節約
- ・ 個人の理解のペースにあわせて繰り返し視聴が可能(デメリット)
- ・ Zoomから移動する手間が必要

詳しく解説した文字資料 (メリット)

- ・ データ量をさらに節約
- ・ 個人の理解のペースにあわせて利用可能(デメリット)
- ・ 毎回の資料作成が大変

教材を各自で読み、課題に取り組む
(質問があれば、PandAのフォーラムに書き込んでもらう)

水～金曜日：課題をPandAの「フォーラム」で指示・提出させる

学生はPandAのフォーラムに意見を書き込む

土～火曜日：学生の相互評価とフィードバック

学生は他の学生の意見にコメントする

→ 講師は適宜学生のやりとりにコメント

火曜日：次の教材と課題をアップロードする